

認知症になっても
住み続けたい！

高齢者のみなさんが
いつまでも住みなれた
まち
地域で暮らしていけるよう

認知症初期集中支援チーム

が泉大津市内で活動をはじめています！

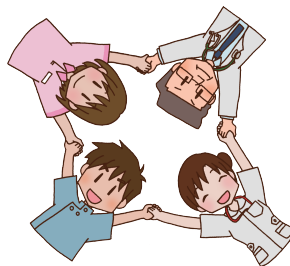
認知症初期集中支援チームとは？

地域包括支援センターの保健師・社会福祉士がチーム員となり、
認知症の専門医（サポート医）の協力を得て活動しています。



こんな活動をします！

泉大津市内にお住まいの認知症またはその疑いのある方
のお宅を訪問して、お話をうかがい、今後の対応などを
一緒に考えます。また、必要な情報を提供します。



対象となる方は？

40歳以上で、自宅で生活をされており、かつ認知症が疑われる方や認知症の方で、
次の①～③に該当する方。

- ①「認知症」と診断されていない方、または治療を中断している方
- ②医療サービスや介護保険サービスを利用していない方
- ③何らかのサービスを受けているが、認知症による症状が強く、どのように対応してよいのか困っている方

ご相談・ご連絡は ☎ **0725-21-0294**
(泉大津市地域包括支援センター内)



泉大津市地域包括支援センター（社会福祉協議会）

泉大津市東雲町 9-15（市立総合福祉センター内） TEL. 0725-21-0294 / FAX. 0725-21-8294

※この事業は泉大津市社会福祉協議会が受託し、地域包括支援センターが実施するものです。

家族がつくった「認知症」早期発見の目安

日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動を、「家族の会」の
会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中
での目安として参考にしてください。
いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることがよいでしょう。

●もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

●判断・理解力が衰える

- 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話のつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった

●時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

●不安感が強い

- 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17「頭が変になった」と本人が訴える

●意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる



出典／公益社団法人認知症の人と家族の会